

報告事項：沖縄県景観施策の取り組みについて

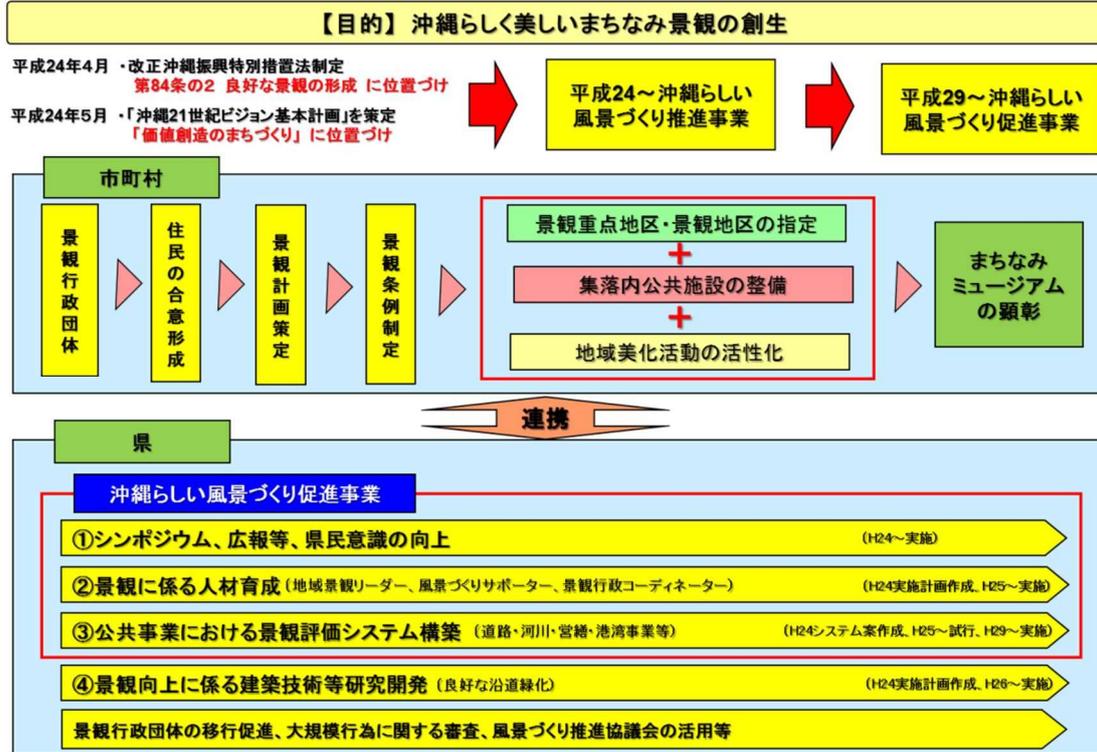
1. 沖縄らしい風景づくり促進事業	
（1）事業概要	・・・ 1
（2）市町村景観施策の取組状況	・・・ 2
（3）令和2年度及び令和3年度の予算について	・・・ 4
2. 令和3年度を取組内容	
（1）風景づくりシンポジウム	・・・ 5
（2）風景づくりに係る人材育成	・・・ 6
（3）景観評価システム運用支援	・・・ 8
（4）今後の展開	・・・ 11

沖縄県景観施策の取り組みについて

1. 沖縄らしい風景づくり促進事業

(1) 事業概要

- 平成24年度から平成28年度まで実施した「沖縄らしい風景づくり推進事業」の成果を踏まえ、平成29年度以降は後継の「沖縄らしい風景づくり促進事業」として、引き続き市町村における景観地区指定の促進等に取り組んでいる。



【令和3年度】 No.198 沖縄らしい風景づくり促進事業

事業概要

普遍的観光資源である沖縄独特の風景・まちなみ景観の創生を図るため、沖縄らしい風景づくりに必要な人材育成や地域景観の向上に係る合意形成、良質な公共空間の創出に向けた取り組みを行い、市町村における景観地区の指定等を促進する。
事業期間：平成24年度～令和3年度
総事業費：386百万円(うち国費：309百万円)
補助率 国・県＝8：2

年度毎の取組

	R1年度	R2年度	R3年度
広報啓発	●	●	●
人材育成	●	●	●
景観評価システム	●	●	●

R3年度実施内容

沖縄らしい風景まちづくりを促進するため、以下の業務を行う。

- ① 風景づくりに係る地域人材育成(委託料)
- ② 景観評価システムの本格運用(委託料)
- ③ 県民の意識向上に向けた広報啓発(委託料)

事業費：13百万円(うち国費：10百万円)

事業実施の目的・効果

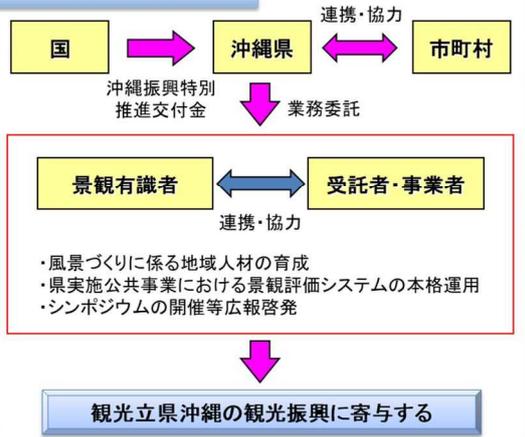
【目的】

普遍的観光資源である沖縄独特の風景・まちなみ景観の保全及び創生を図る。

【R3年度成果目標】

- ① 取組を実施した地域において、沖縄独特の風景・まちなみ景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証
- ② 景観アドバイスカンファレンスを開催し、同会議の助言を沖縄県景観評価委員会へ報告
- ③ 風景づくりに対する意識向上に向けた景観シンポジウムを開催する(参加者200人)

イメージ図



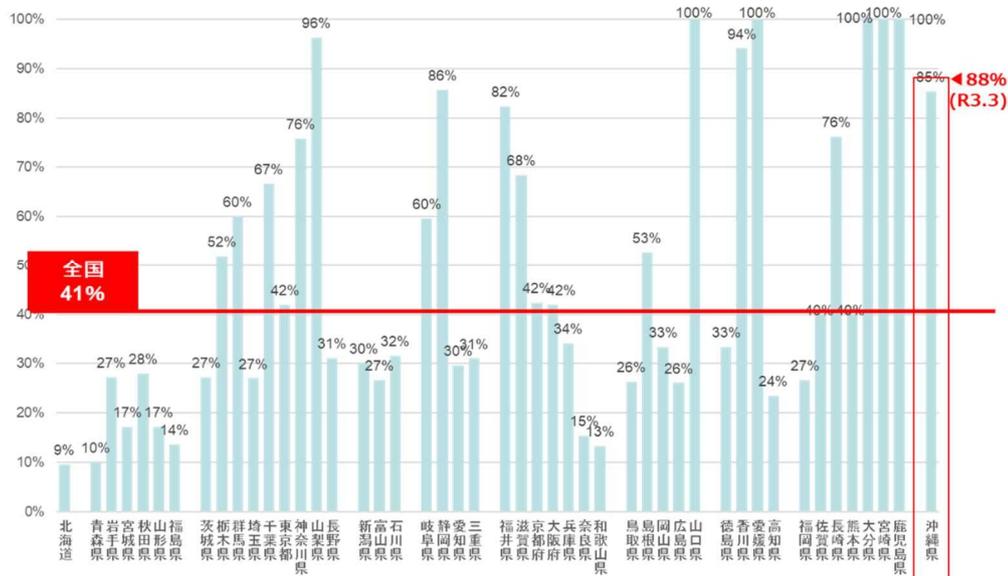
(2) 市町村景観施策の取組状況

- ・沖縄県では、景観行政団体移行率 85% (全国平均 41%)、景観計画策定率 83% (同左 34%、平成 31 年 3 月時点※)、景観地区等指定 9 地区と、景観形成の取組が促進されている。

【景観行政団体への移行状況】 令和 2 年 3 月時点 (出典：国交省 HP に加筆)

全国の市区町村のうち、4 割が景観行政団体に移行している。

都道府県内の全ての市区町村が景観行政団体に移行しているのは山口県、愛媛県、大分県、宮崎県、鹿児島県。



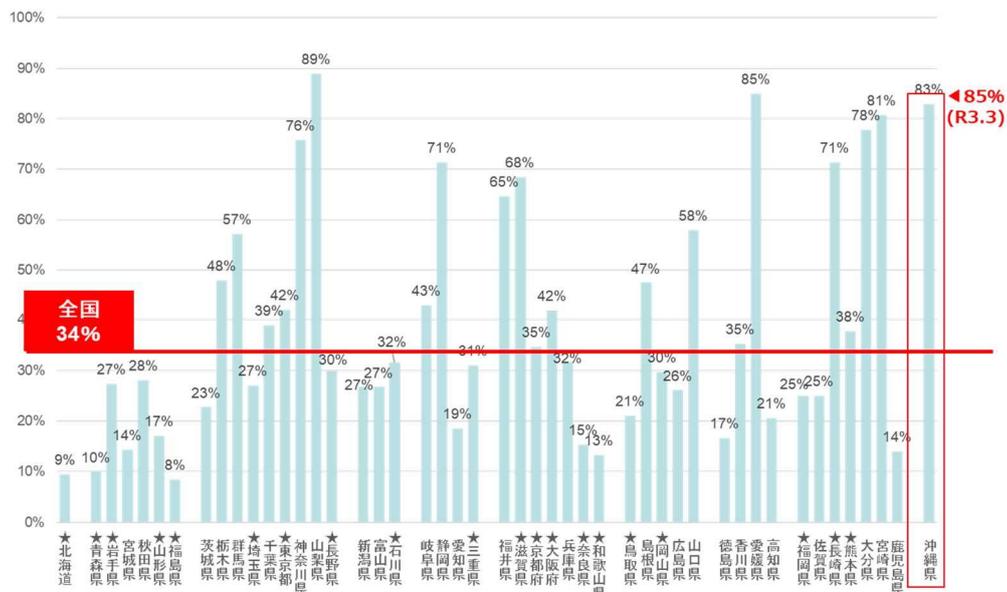
出所：国土交通省資料

※母数は都道府県を除いた地方公共団体

【景観計画の策定状況】 令和 2 年 3 月時点 (出典：国交省 HP に加筆)

全国では約 34% の市区町村で景観計画策定済み。

一方、都道府県間ではバラツキがあり、取組の進捗に地域差がある。



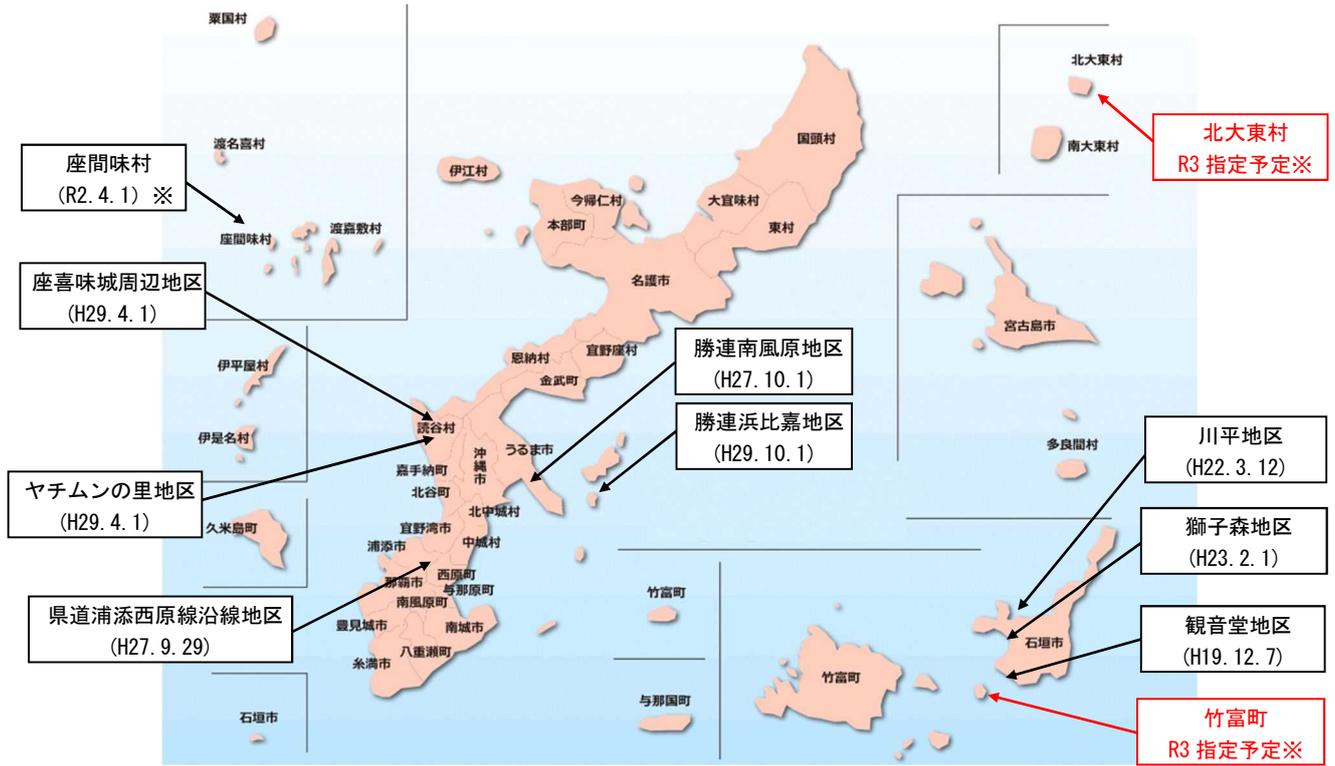
出所：国土交通省資料

※母数は都道府県を除いた地方公共団体

※★は景観計画を策定している都道府県

※沖縄県の直近データ：景観行政団体移行率 88%、景観計画策定率 85% (令和 3 年 3 月時点)

【県内の景観地区等の指定状況】 令和3年3月時点 ※は準景観地区



観音堂地区 (石垣市)



川平地区 (石垣市)



県道浦添西原線沿線地区 (浦添市)



勝連浜比嘉地区 (うるま市)



勝連南風原地区 (うるま市)



ヤチムンの里地区 (読谷村)



竹富町 (R3 指定予定) ※準景観地区



座間味村 ※準景観地区

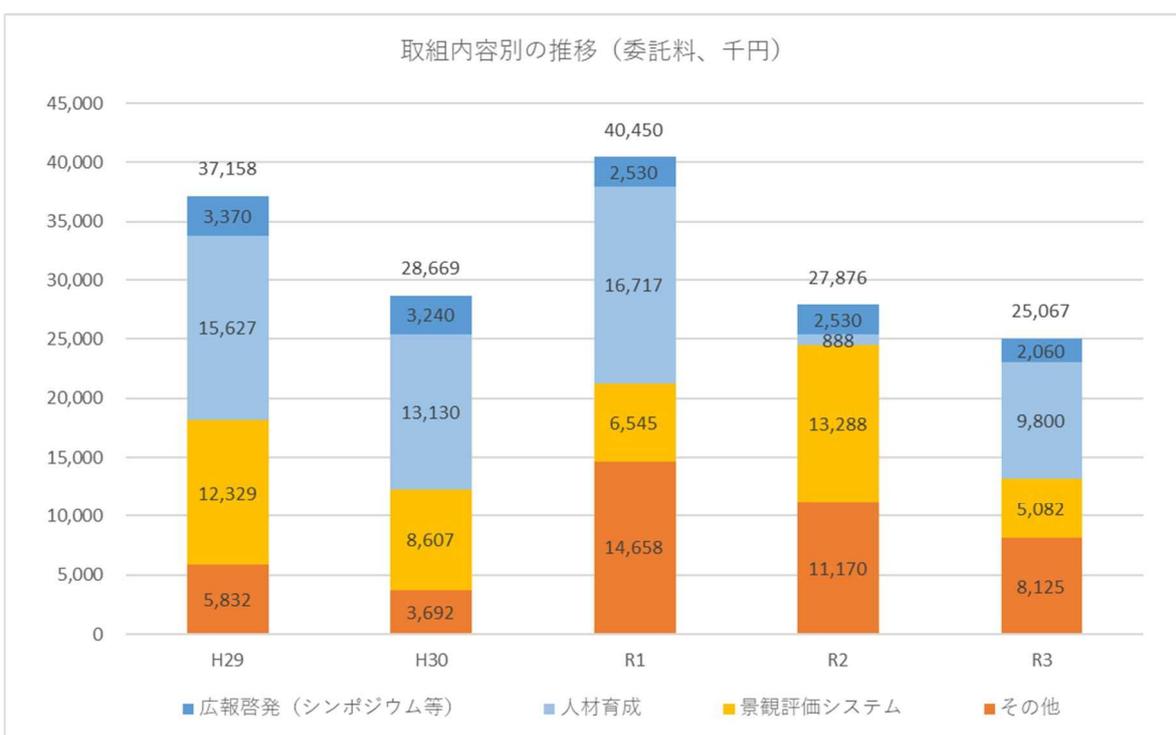
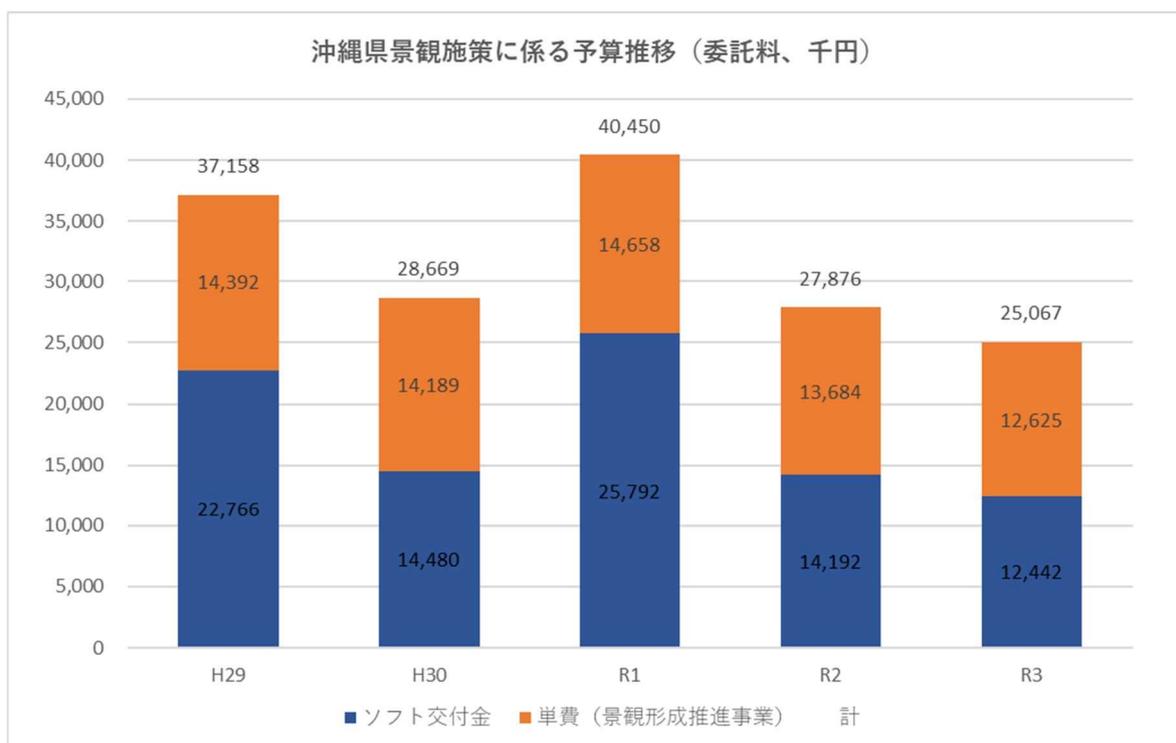


北大東村 (R3 指定予定) ※準景観地区

(3) 令和2年度及び令和3年度の予算について

(単位：千円)

NO	業務名	R2実績額	R3予算額
1	シンポジウムの開催等広報啓発	2,530	2,060
2	風景づくりに係る人材育成	888	5,300
3	景観評価システム運用支援	13,288	5,082
-	ソフト交付金事業(委託料)合計	14,176	12,442



2. 令和3年度の取組内容

(1) 風景づくりシンポジウムの開催

- ・風景づくりに関する県民の意識の向上を図るため、有識者による基調講演やパネルディスカッション等をシンポジウム形式で開催している。なお、令和2年度はコロナウイルスの影響により、Youtubeによるオンライン配信も実施した。
- ・令和3年度も引き続き開催を予定している（詳細は今後調整予定）。

(参考：令和2年度の実施内容)

・令和2年11月26日（木）

沖縄県立博物館・美術館講堂で開催

・基調講演

「ふるさとの風景に支えられた
新しい挑戦」

[講演者] 熊本大学
熊本創生推進機構
准教授 田中 尚人 氏

・パネルディスカッション

『心のよりどころ』としての風景づくり
～心のよりどころとなる景観を残し、
守り、創り上げていくためには～

[コーディネーター]
琉球大学 名誉教授 池田 孝之 氏
[パネリスト]

(公社) 沖縄県建築士会会長 金城 傑 氏
大鏡建設(株)開発事業部長 山城 伸也 氏
ていーだ観光(株)取締役 崎原 真弓 氏

- ・参加者数：61名（+Youtube 再生回数 551）

心のよりどころ
としての風景づくり

沖縄らしい景観
まちなみづくり
シンポジウム

2020 11/26 [木]
入場無料

開場 13:00 開演 13:30
沖縄県立博物館・美術館 講堂

定員 100名

WEB配信フォーム
開場 13:00 開演 13:30
沖縄県立博物館・美術館 講堂
URL: <https://forms.glo/NZ4yqFwTsmn85Vs7>
WEB配信フォームまたはチラシ裏面に記入の上FAXよりお申し込みください。

YouTube配信
当日会場に来られない方でも、
WEB上で視聴できます。

第一部 基調講演
ふるさとの風景に
支えられた新しい挑戦
熊本大学
熊本創生推進機構
准教授 田中 尚人

第二部 パネルディスカッション
琉球大学名誉教授 (コーディネーター) 池田 孝之
(公社) 沖縄県建築士会 会長 金城 傑
大鏡建設株式会社 取締役事業部長 山城 伸也
ていーだ観光株式会社 取締役 崎原 真弓

お問い合わせ 丸正印刷株式会社 (担当:平良・新城) TEL.098-835-8181 FAX.098-835-8184 E:oki.fukai2020@gmail.com

主催 沖縄県 [土木建築部 都市計画課・観光課]

(2) 風景づくりに係る人材育成

風景づくりに貢献できる人材の育成のため、地域住民を対象とした「風景づくりサポーター及び地域景観リーダー」や、景観行政担当職員を対象とした「景観行政コーディネーター」向けに、講習会や実務研修等を実施している。

①地域人材育成（風景づくりサポーター及び地域景観リーダー）

- ・良好なまちなみ景観形成にあたっては、地域の景観のルールづくりと景観を維持管理する体制整備が必要なため、地域住民を対象とした地域人材の育成に取り組んでいる。
- ・令和3年度も引き続き県内6地区（首里金城地区、壺屋地区、浜比嘉地区、字豊見城地区、浦添前田地区、竹富島地区）において、風景づくりサポーター及び地域景観リーダーの育成を実施する予定としている。

【実施の流れ】



【実施状況】



風景づくりサポーター育成（壺屋、浜比嘉、浦添前田地区）

地域景観リーダー育成
（県内事例視察（浜比嘉地区）、全体講習会）

②景観行政コーディネーター

- ・景観法運用指針では、景観施策は市町村が主体となって実施することが望ましいとされており、沖縄らしい風景づくりの推進には市町村の役割が重要であるため、市町村景観行政担当者を対象に研修を実施している。
- ・景観行政初任者を対象とした基礎研修は、景観施策の流れや景観まちづくりの仕組み、県内市町村における景観まちづくりの事例などの基礎的な内容を予定している。
- ・実践研修は「景観計画の策定・景観地区の指定」や「景観誘導と屋外広告物」、「景観まちづくりと地域振興」といった実践的な内容を予定している。
- ・コーディネーターという役割をより実践的に学んでもらうため、先進地自治体から景観行政担当者を講師として招聘し、景観地区や景観協議会等の事例を紹介していただいている。

【プログラム】

R 2 基礎編	
第1回 (9/3)	第2回 (9/4)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義：景観まちづくり、土木景観土木景観 ・ 実地研修（浦添市仲間地区） ・ 意見交換ワークショップ（以下、WS） ・ 参加者数 19 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義：建築景観、景観と色彩計画、ランドスケープデザインと緑化 ・ 意見交換WS ・ 参加者数 18 名

R 2 実践編		
第1回 (9/17)	第2回 (9/18)	県外研修 (11/12～14)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観計画の策定と景観地区の指定 ・ 景観協議会の設立 ・ 県内事例研究（浦添市、うるま市） ・ 景観誘導と屋外広告物 ・ 景観まちづくりによる地域振興 ・ 事例研究（金沢市、加賀市） ・ 参加者数 27 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沖縄総局の景観評価システム ・ 沖縄県景観評価システム ・ 事例研究（兵庫県：広域景観） ・ 総括＋意見交換WS ・ 参加者数 26 名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石川県金沢市、加賀市 ・ テーマ：景観地区指定及び運用、景観協議会設立等について ・ 参加者数：2 名

【研修の様子】

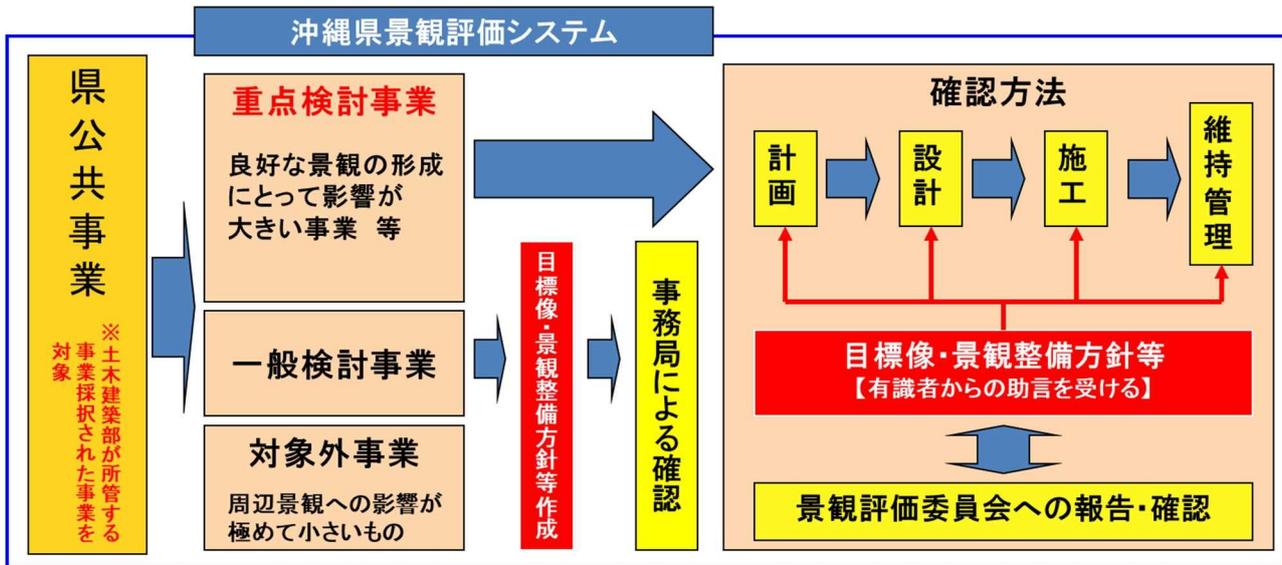


基礎編（講義：景観と色彩計画、意見交換WS）

基礎編（実地研修（浦添市））

(3) 景観評価システム運用支援

- 公共事業において維持管理を含めた事業サイクル全体を通して景観評価を行い、景観に配慮された良質な公共空間を創出することを目的として、平成24年度から景観評価システム(景観アセスメント)の構築に取り組み、平成29年度から本格運用を実施している。
- 令和2年度は、道路3事業・河川1事業・公共建築2事業・海岸2事業の計8事業を委員会への報告対象としている。令和3年度以降は施工・維持管理段階を重点検討事業の対象に加え、重点検討事業から抽出した10事業程度を対象に、景観アドバイス会議へ有識者を派遣する等、運用に係る支援を予定している。



【スケジュール】

	H24~H28	ステージ1				ステージ2 R3~
		H29	H30	R1	R2	
システム全体	・システム案作成 ・本格運用に向けた指針、体制整備	計画・設計段階の 重点検討事業				計画・設計・施工・ 維持管理段階の 重点検討事業
道路	・糸満与那原線、名護本部線、龍潭線、浦添西原線、城間前田線、奥武山米須線、勝連半島南側道路 (延べ10事業)	・勝連半島南側道路 ・豊見城糸満線 (2事業)	・勝連半島南側道路 ・豊見城糸満線 (2事業)	・勝連半島南側道路 ・豊見城糸満線 ・県道20号線・中城湾港臨港道路(泡瀬区間) ・平良下地島空港線 (4事業)	・豊見城糸満線 ・南部東道路JCT ・平良下地島空港線 (3事業)	景観評価委員会 確認・助言 対象事業 ↓ 年間10事業程度
河川	・比謝川、報得川、田原川 (延べ6事業)	・謝名堂川 ・田原川 (2事業)	・小波津川 (1事業)		・小波津川 (1事業)	
公共建築	・名護高校、新川団地、八重山病院、陽明高校、中城公園台グスクエリア展望台、家畜衛生試験場、てだこ浦西駅P&R駐車場 (延べ9事業)	・てだこ浦西駅P&R駐車場 ・那覇A特別支援学校(仮称) (2事業)	・兼城港旅客ターミナルビル ・那覇A特別支援学校(仮称) (2事業)	・高原団地 (1事業)	・砂辺団地 ・牧港団地 (2事業)	
港湾	・粟国港、座間味港 (2事業)	・水納港 (1事業)	・水納港 (1事業)			
海岸	・伊佐海岸 (1事業)	・伊佐海岸 ・川平海岸 (2事業)	・川平海岸 (1事業)		・川平海岸 ・船浮港海岸 (2事業)	
公園、砂防、ダム、空港、下水道			・宮古広域公園 (1事業)			
実績	試行運用 28事業	本格運用 30事業				

令和2年度沖縄県景観評価委員会対象事業及び事業景観アドバイザー

《道路》

①R1 豊見城糸満線調査測量設計業務委託／南部土木事務所

[担当アドバイザー]

友寄 孝 (一般社団法人 沖縄しまたて協会 理事・技術環境研究所所長)

増山 晃太 (熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 特別研究員)

②R2 南部東道路ジャンクション橋梁予備設計業務委託／南部土木事務所

[担当アドバイザー]

同上

③平良下地島空港線／宮古土木事務所

[担当アドバイザー]

同上

《河川》

①小波津川設計業務委託(R1-1)／中部土木事務所

[担当アドバイザー]

島谷 幸宏 (九州大学 工学部 教授)

皆川 朋子 (熊本大学大学院 先端科学研究部 准教授)

神谷 大介 (琉球大学 工学部 准教授)

《公共建築》

①県営砂辺団地建替工事基本設計業務／施設建築課

[担当アドバイザー]

伊良波 朝義 (公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部長)

西村 浩 (株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役)

②県営牧港団地建替工事基本設計業務／施設建築課

[担当アドバイザー]

伊良波 朝義 (公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部長)

中島 親寛 (公益社団法人 沖縄県建築士会 理事)

《海岸》

①R2 川平海岸調査測量設計業務委託／八重山土木事務所

[担当アドバイザー]

齋藤 潮 (東京工業大学 工学部 教授)

入部 綱清 (琉球大学 工学部 助教)

②R2 船浮港海岸調査測量設計業務委託／八重山土木事務所

[担当アドバイザー]

同上

【事例：南部東道路ジャンクション（計画段階）】

- 令和2年度の対象事業である南部東道路ジャンクション橋梁予備設計の景観検討では、ランプ部の擁壁による圧迫感が懸念されるとの指摘をふまえ、擁壁の高さについて、CIMモデルを活用して、走行車から見た内部景観と橋梁周辺から見た外部景観の視点から3パターンの案を作成し、景観検討及び概略の経済比較を実施している。

景観アドバイス会議における指摘事項と対応

令和2年度 第1回景観アドバイス会議（令和2年10月28日実施）		
項	指摘事項及び要望	対応（○：対応済み △：検討中 ×：対応不可）
1	<p>【擁壁・橋梁範囲の区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプの擁壁が高いので、本線部分の走行車への圧迫感が気になる。 これだけ擁壁が高いと周囲からも圧迫感がある。 GLからの高さ何m以下は擁壁、何m以上は橋梁にする等の考え方を整理すること。 桁下空間として必要な高さまで橋梁形式とした場合と、ランプ合流部のギリギリまで橋梁形式とした場合を比較検討すること。 	<p><第2回景観アドバイス会議対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 現計画位置を基本に、合流部まで橋台を引いた計画と、中間案での比較検討を実施。 CIMモデルより南部東道路からの擁壁の見え方を整理し、概略の経済比較を実施。 擁壁高さは、計画済みの大里ICランプ出入口を踏襲し、路面から7~8m程度の構造高を、擁壁・橋梁の区切りとして考える。 <p>○</p>

CIMモデルを用いた概略検討



※上記内容は予備設計における検討中の内容であり、今後変更となる可能性がある。

(4) 今後の展開

- ・ 沖縄らしい風景づくり促進事業による取組と連携した県内市町村の景観施策の推進により、沖縄 21 世紀ビジョンで目標としている、市町村の景観行政団体への移行や景観計画策定の状況は全国的にも高い水準で推移している。
- ・ 一方で、前身の「沖縄らしい風景づくり推進事業」(平成 24～28 年度)の成果検証において、県内市町村向けのアンケート調査や景観整備機構及び有識者へのヒアリング等を実施したところ、観光分野との連携の視点から景観施策の展開の必要性も指摘されている。
- ・ 「景観 10 年、風景 100 年」と言われるように、沖縄らしい風景づくりには先を見据えた息の長い取り組みが必要である。そのため、令和 3 年度にこれまでの取り組みの事業評価を実施し、事業評価の結果を踏まえ、令和 4 年度以降、次期振興策等において、さらに取り組みを充実して継続的に実施していく方針である。